

## <金標準、日米の金融政策に違いと来年に向けた底固め・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行は、7ヶ月ぶりに金準備の4.7トン増加を報告し、市場は中国買いを好感している。また ING Groep によると、地政学的な懸念から、金は今年連続して過去最高値を更新し、2025年には現在の水準である1オンス平均2713ドル~2760ドルになると予想し、買いの大半は、外貨準備の分散を図る中央銀行によるもので、貿易と地政学的摩擦の激化が地金の逃避先としての魅力を高める可能性がある。またドイツの貴金属トレーダー会社である「ヘレウス・プレシャス・メタルズ」は、「Precious Metals Forecast 2025」を発表し、2025年の金価格は1オンスあたり2450ドル~2950ドルの間で取引されると予測している。ただ週末には、今週18日に開催されるFOMCや翌日の日銀金融政策決定会合で、金融政策の違いを受けた円安・ドル高を受け金標準先物は、一時13118円まで下値を模索するなど、日米の金融政策を織り込むまでは、目先下値模索の展開が強まると思えるも、年末に向け底固めから13000円割れには注意が必要と思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACAの上昇が止まり、シグナルは切り上げている。RCIは短期が上昇し、長期も切り上げている。特に10日移動平均線が13016円で切り上げるなど13000円が抵抗帯になる可能性は高まると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,344,000 円(2024 年 12 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 12 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>